

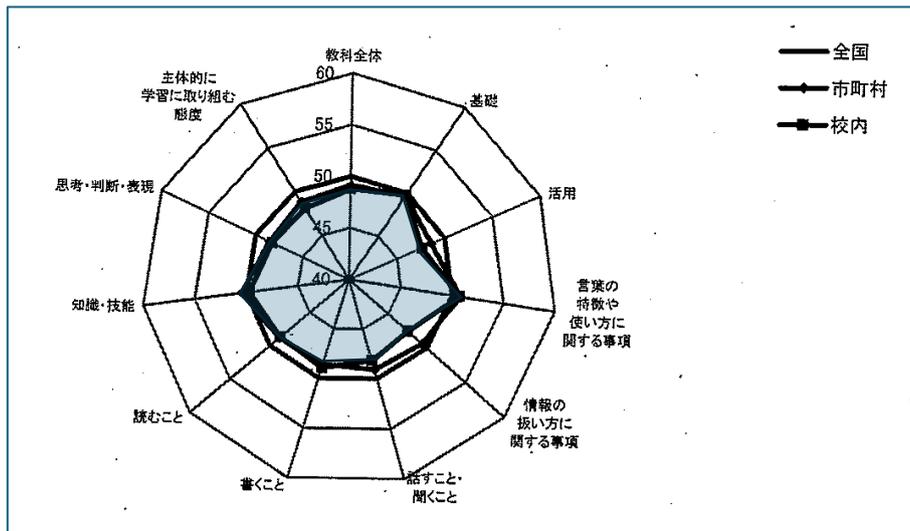
## 令和6年度摂津市学力定着度調査の結果から

### 1. 学校全体の結果概要

学年・教科での差はありますが、全教科（国語・算数・理科）が全国平均と大きく変わることなく、おおむね良好な状況です。

### 2. 1年生の結果分析

#### 《国語》



#### 【成果】

- ・漢字を読む力と、助詞(へ、を、は)の使い方の正答率は、全国値を上回りました。
- ・作文の無回答率が低かったです。

#### 【成果の要因】

- ・毎日の宿題と継続的に漢字や助詞の復習を行ったことが成果につながりました。

#### 【課題】

- ・説明文の読み取りに課題があります。
- ・経験したことをもとに文章を書いたり、伝えたりする力に課題があります。(全国比12.3%↓)

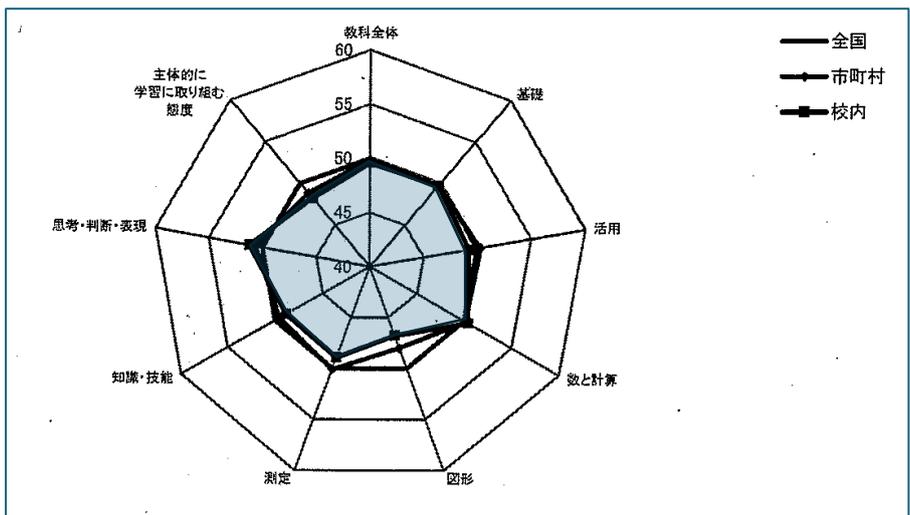
#### 【課題の要因】

- ・「けづくろい」など初めて触れる語彙に対して、想像しながら読むことが難しいです。
- ・経験したことを発表したり、文章に書いたりする活動に取り組んでいますが、不十分でだったと考えます。

#### 【今後の取組み】

- ・自分が経験したことから、文章を書く力を育てるため、日記を取り入れます。
- ・学んだ事項を他の文章でも活かせるよう、様々な文章にふれる機会を増やします。

《算数》



【成果】

- ・ 加法・減法の基本的な計算については、全国と同じ、もしくは上回る正答率でした。
- ・ 文章から立式する力も全国比を上回りました。

【成果の要因】

- ・ 毎日計算カードや様々な文章問題に取り組んだことで、基礎・基本の定着が図れたと考えます。

【課題】

- ・ 筒やさいころの形の仲間分け(全国比 10.6 割合↓)や、形を写し取る問題(全国比 8 割合↓)に課題がありました。
- ・ 式から問題づくりを行う力については正答率が 19.5 割合にとどまりました。

【課題の要因】

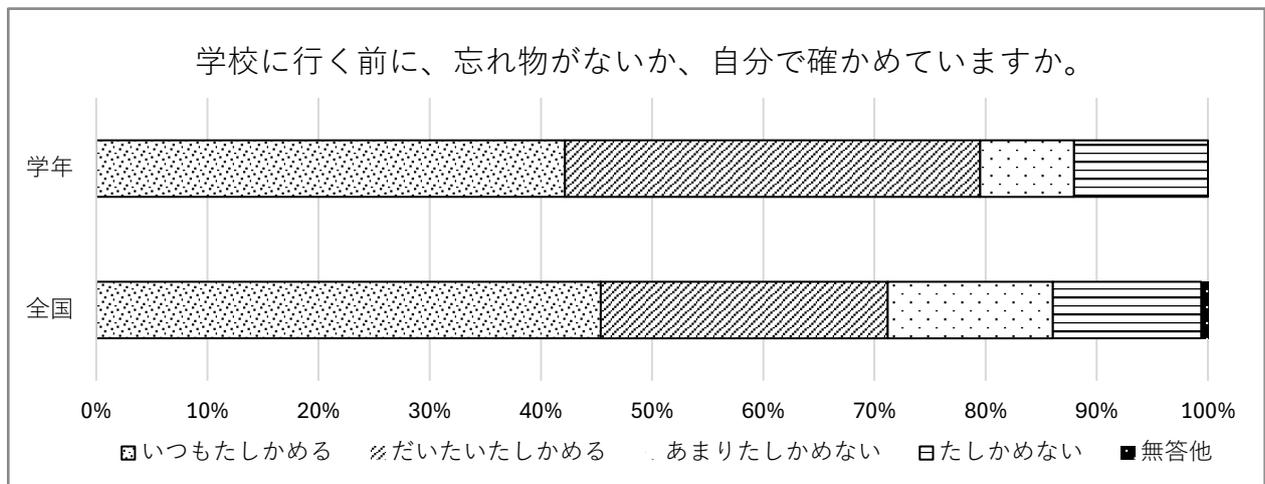
- ・ 立体については、具体物を使った学習を行いました。平面で見とる力が育てられていませんでした。

【今後の取組み】

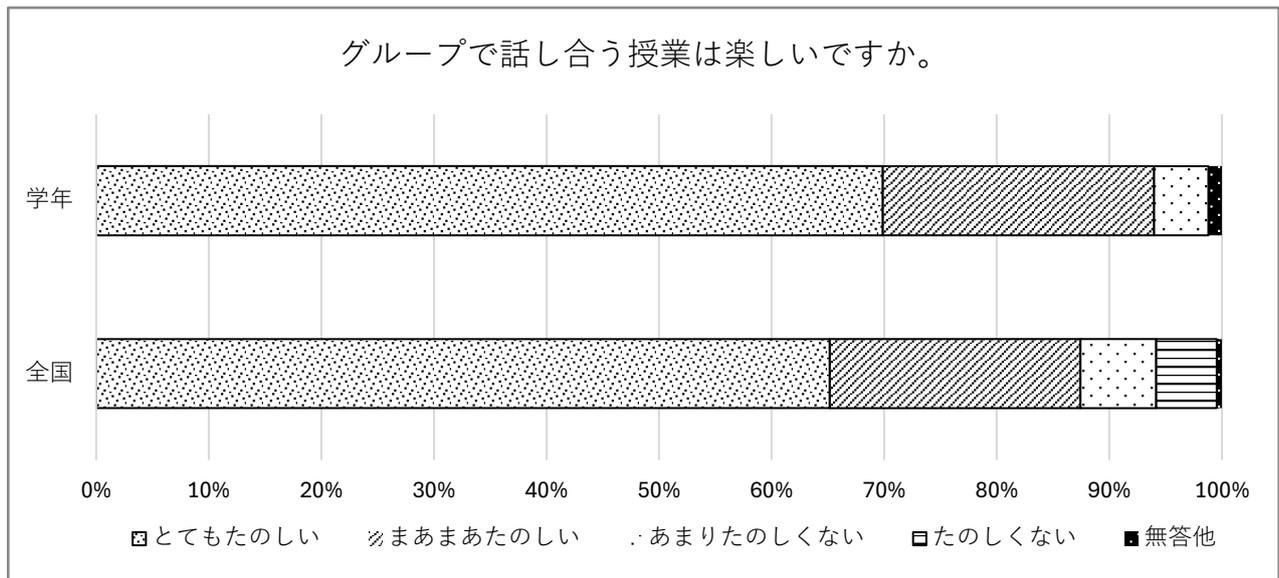
- ・ 具体物を使用し、平面でもイメージをつけられるようにします。
- ・ 文章問題については、解くだけでなく、問題作りなどにも取り組んでいきます。

《i-check》

\*肯定的な回答が多かった項目

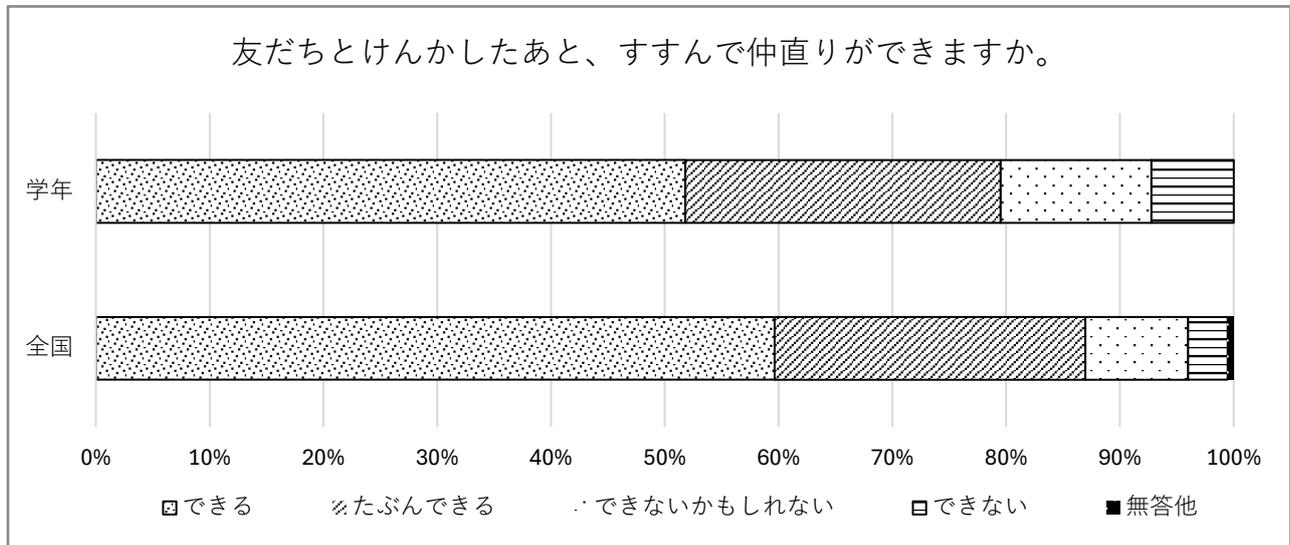


自分のことは自分でする習慣がついています。ご家庭でのていねいなサポートに加え、学校での朝や帰りの用意、授業準備を毎日することで、力がついていると考えられます。



友だちと話し合う授業が楽しいと感じている児童の割合が高い結果となりました。授業の中で、積極的にグループでの話し合い活動を取り入れています。これらの活動を通して、“人に伝えよう”とする気持ちが高まり、友だちと関わるのが好きな児童が増えていると考えられます。

**\*改善が必要であると思われる項目**



自分からすすんで仲直りをするのが難しい児童が多いです。普段の様子からも、気持ちの切り替えに時間がかかるのではないかと考えます。

トラブルが起こった際は、教師がサポートしながら自分や相手の気持ちを整理したり、どうしたらよかったのか振り返ったりする練習をしていきます。徐々に教師による介入を減らし、自分たちで考える力の育成を目指していきます。